

一般社団法人日本ゴム工業会安全衛生委員会発行の調査報告書(年次調査を除く)

No.	題 名	発行年月	残部数	価格
1-1	労働安全衛生面に関するアンケート調査結果	1980年10月	－	－
1-2	薬品・原材料の有害性に関する調査方法事例	1980年10月	－	－
1-3	薬品・原材料の有害性に関する調査結果－質疑応答集(その1)－	1980年10月	－	－
1-4	安全衛生関係の法解釈上の疑義・問題点等に関する調査結果－質疑応答集(その1)－	1980年10月	－	－
2-1	安全衛生関係の参考文献一覧	1980年10月	－	－
2-2	安全衛生関係の技術サービス機関一覧	1980年10月	－	－
2-3	安全衛生装器具一覧	1980年10月	－	－
4-1	薬品・原材料の有害性に関する調査結果－質疑応答集(その2)－	1982年6月	－	－
4-2	安全衛生関係の法解釈上の疑義・問題点等に関する調査結果－質疑応答集(その2)－	1982年6月	－	－
6	圧力容器(第一種・小型・第二種)に関する手引書	1983年3月	－	－
6-2	圧力容器(第一種・小型・第二種)に関する手引書<追補>～圧力容器に関する説明会議事録～	1983年12月	－	－
9-1	薬品・原材料の有害性に関する調査結果－質疑応答集(その3)－	1984年9月	－	－
9-2	安全衛生関係の法解釈上の疑義・問題点等に関する調査結果－質疑応答集(その3)－	1984年9月	－	－
10	裁断機の安全装置事例集	1985年3月	－	－
12	加硫プレス作業の安全対策事例集	1986年1月	－	－
14	VDT作業に係る労働衛生管理について	1987年1月	－	－
19	改正安衛法の実践への指針－わかりやすい活動の手引－	1990年8月	－	－
21	粉じん障害防止総合対策推進運動の手引き	1991年11月	－	－
23	健康保持増進(心とからだの健康づくり)の進め方(THP推進マニュアル)	1993年7月	－	－
25	巻き込まれ災害防止マニュアル&災害事例	1994年5月	－	－
27	阪神・淡路大震災の教訓と職場の地震対策	1995年6月	－	－
29	職場の騒音対策	1995年12月	5	300円
30	はさまれ災害防止マニュアル&災害事例	1996年5月	4	300円
32	粉じん障害防止総合対策推進運動の手引き(改訂版)	1997年7月	5	300円
34	快適職場づくり(高齢化対策を含む)マニュアル	1998年3月	5	300円
36	「粉じん障害防止総合対策推進運動」に係るアンケート調査(第3回)報告書	1998年11月	80	300円

40	職場のリスクアセスメントの手引き	2001年9月	－	－
42	新・VDT作業に係る労働衛生管理について	2003年4月	－	－
44	「粉じん障害防止総合対策推進運動」に係るアンケート調査(第4回)報告書	2004年2月	10	300円
47	機械のリスク低減対策の手引き	2005年10月	15	300円
49	請負形態における元方事業者の安全衛生管理について	2007年6月	8	300円
52	新人の技能教育と安全の手引き	2009年8月	22	300円
－	リスクアセスメントの取り組み状況等に関するアンケート調査集計結果	2011年9月	－	－
57	リスクアセスメントの導入・推進に関する質問と実例回答集	2012年12月	－	－
60	危険体感教育導入・推進のために	2014年2月	－	－
63	安全パトロールの活用事例集	2015年4月	7	600円
68	ヒューマンエラー低減への取り組み	2017年5月	15	300円
73	KY活動の活性化に向けての事例集	2018年9月	28	510円
76	労働災害における効果的な要因調査・分析と対策の取り組み	2019年9月	28	1000円
79	ゴム製品製造業の作業工程における安全対策	2020年9月		550円
82	ゴム製品製造業におけるプロセス(工程)別にみた新人教育(技能職作業者にこなすべき新人教育の内容)	2022年5月	12	540円
85	職場での安全ルール順守の進め方(ルール違反によって発生する災害の防止)	2023年6月	17	760円
88	保全作業の安全確保(非定常作業で発生する災害の防止)	2024年7月	－	－

4-1 薬品・原材料の有害性に関する調査結果 – 質疑応答集(その2) –

目次

1. ジフェニル・グアニジン
2. 2-メルカプトベンゾチアゾール
3. ジベンゾチアジル・ジスルフィド
4. テトラメチルチウラム・ジスルフィド
5. テトラエチルチウラム・ジスルフィド
6. N-オキシジエチレン-2-ベンゾチアゾリル・スルフェンアミド
7. ジメチル・ジチオカルバミン酸亜鉛
8. チオカルバニリド
9. ジエチル・チオ尿素
10. 2-メルカプトベンズイミダゾール
11. N-N'-ジ-2-ナフチル-P-フェニレンジアミン
12. スチレン化フェノール
13. ポリ(2,2,4-トリメチル-1,2-ジヒドロキノリン)
14. 0,0'-ジベンズアミドニフェニル・ジスルフィド
15. 酸化鉛
16. クロム酸鉛
17. N-ニトロソ・ジフェニルアミン
18. 1,3-ビス(第3ブチル・ペルオキシ・オソプロピル)ベンゼン
19. 有機アミン

4-2 安全衛生関係の法解釈上の疑義・問題点等に関する調査結果－質疑応答集(その2)－
目次

1. 法解釈上の疑義について

安全関係

衛生関係

2. 法規通り実施するうえでの問題点等について

局所排気装置関係

作業環境測定関係

保護具関係

健康診断関係

その他

6 圧力容器(第一種・小型・第二種)に関する手引書

目次

I. 圧力容器の定義と区分

1. 圧力容器の定義
2. 圧力容器の区分
3. ゴム工業関係の圧力容器

II. 圧力容器設置等の手続要領

1. 圧力容器設置等の手続一覧
2. 圧力容器設置等の事務手続

6-2 圧力容器(第一種・小型・第二種)に関する手引書<追補>～圧力容器に関する説明会議事録～

目次

1. 説明会の開催経緯について
2. 適用法規並びに第一種圧力容器設置等の手続要領について
3. 小型および第二種圧力容器の検定等の手続要領について
4. 質疑応答

9-1 薬品・原材料の有害性に関する調査結果 – 質疑応答集(その3) –

目次

1. ポリ-p-ジニトロソベンゼン
2. 2-(4'-モルホリノ・ジチオ)ベンゾチアゾール
3. N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアジル・スルフェンアミド
4. エチレン・チオ尿素
5. ジブチル・チオ尿素
6. トリメチル・チオ尿素
7. テトラメチル・チオ尿素
8. テトラメチルチウラム・モノスルフィド
9. N-イソプロピル-N'-フェニル-p-フェニレンジアミン
10. 2-メルカプトメチル・ベンズイミダゾール
11. 1-アルキル-3-オキシジエチレン-2-チオ尿素

9-2 安全衛生関係の法解釈上の疑義・問題点等に関する調査結果－質疑応答集(その3)－

目次

1. 「作業環境測定」に関する事項
2. 「粉じん」に関する事項
3. 「じん肺」・「健康診断」に関する事項
4. 「保護具」に関する事項
5. 「安全装置」に関する事項
6. 「安全衛生教育」に関する事項
7. その他

10 裁断機の安全装置事例集

目次

1. はじめに
2. 裁断機
3. 安全装置
4. 裁断機による災害発生状況
5. 裁断機の安全対策
6. おわりに

12 加硫プレス作業の安全対策事例集

目次

1. はじめに
2. 加硫プレス機の種類
3. 加硫プレス災害
4. 加硫プレス作業の安全対策
5. おわりに

14 VDT作業に係る労働衛生管理について

目次

1. はじめに
2. 労働省のVDT作業のための労働衛生上の指針及び解説
3. VDT作業が健康に及ぼす影響についての講演要旨

19 改正安衛法の実践への指針 -わかりやすい活動の手引-

目次

1. はじめに
2. 労働安全衛生法の制定はどんな意味を持っているのですか
3. 安全衛生管理体制とはどういうことか、また改正法の安全衛生推進員の選任とは
4. 安全衛生教育とは、改正法でいう安全衛生教育とはどういうものか
5. 危害防止基準(安全対策のための技術上の指針)というのはどんなものですか
6. 危険、有害物の取扱いで、どういうことが必要なのか
7. 健康保持増進事業計画といったものは、どういったことですか
8. 構内下請など特殊労働関係における労働安全衛生管理者というのはどんなことですか
9. 事前評価(審査)制度とはどんな制度なのですか

21 粉じん障害防止総合対策推進運動の手引き

目次

1. 経営首脳者等による粉じん作業場のパトロールを実施すること
2. 生産設備、生産工程及び作業方法の改善、原材料の変更等による粉じん暴露の低減化のための検討及びその対策の実施を図ること
3. 事業場の規模に応じて、衛生管理者、衛生推進者(安全衛生推進者)等の専任及び職務の徹底を図ること
4. 「検査・点検責任者」を選任し、局所排気装置及び除じん装置の1年以内ごとに1回の定期自主検査及び少なくとも月に1回以上の自主的な点検の実施を徹底すること
5. 「たい積粉じん清掃責任者」を選任し、毎日の清掃及び月1回以上のたい積粉じん除去のための清掃の実施を徹底すること
6. 作業環境測定の実施及びその結果の評価に基づく適正な作業環境管理の実施の徹底を図ること
7. 「保護具着用管理責任者」を選任し、呼吸用保護具の適正な使用の徹底を図ること
8. じん肺健康診断の完全実施及び管理区分による作業転換等の事後措置の徹底を図ること
9. 特別教育の計画的な実施の徹底及びアーク溶接作業等特定粉じん作業以外の粉じん作業従事労働者に対する特別教育に準じた教育の実施を図ること
10. 系列企業も含めた粉じん障害防止対策の推進を図ること

23 健康保持増進(心とからだの健康づくり)の進め方(THP推進マニュアル)

目次

1. 健康づくりで幸せをめざせ
2. 健康保持増進の基本的考え方
3. 健康保持増進の進め方
4. 職工保持増進対策の内容
5. 健康教育
6. メンタルヘルス
7. 健康保持増進(THP)の具体的推進(事例)

25 巻き込まれ災害防止マニュアル&災害事例

目次

1. はじめに
2. ゴム工業における災害の発生状況
3. 災害は何故起きるのか
4. 災害防止対策の基本的な考え方
5. 巻き込まれ災害の代表的パターン
6. 巻き込まれ災害事例

27 阪神・淡路大震災の教訓と職場の地震対策

目次

1. 阪神・淡路大震災の被害と対策の概要(当会会員事業所 4 社)
2. 企業における地震対策の考え方
3. 地震対策チェックリスト
4. 地震発生から復旧活動までの手順(事例)

29 職場の騒音対策

目次

1. 騒音の健康への影響
2. 騒音の基礎知識
3. 騒音の測定方法
4. 騒音防止対策
5. 防音保護具
6. 健康管理
7. 騒音作業従事者教育
8. 騒音対策改善事例

30 はさまれ災害防止マニュアル&災害事例

目次

1. はじめに
2. はさまれ災害の発生状況
3. はさまれ災害の定義と特徴
4. はさまれ災害防止
5. はさまれ危険個所の先取り安全
6. はさまれ災害事例

32 粉じん障害防止総合対策推進運動の手引き(改訂版)

目次

1. 経営首脳者等による粉じん作業場のパトロールを実施すること
2. 生産設備、生産工程及び作業方法の改善、原材料の変更等による粉じん暴露の低減化のための検討及びその対策の実施を図ること
3. 事業場の規模に応じて、衛生管理者、衛生推進者(安全衛生推進者)等の専任及び職務の徹底を図ること
4. 「検査・点検責任者」を選任し、局所排気装置及び除じん装置の1年以内ごとに1回の定期自主検査及び少なくとも月に1回以上の自主的な点検の実施を徹底すること
5. 「たい積粉じん清掃責任者」を選任し、毎日の清掃及び月1回以上のたい積粉じん除去のための清掃の実施を徹底すること
6. 作業環境測定の実施及びその結果の評価に基づく適正な作業環境管理の実施の徹底を図ること
7. 「保護具着用管理責任者」を選任し、呼吸用保護具の適正な使用の徹底を図ること
8. じん肺健康診断の完全実施及び管理区分による作業転換等の事後措置の徹底を図ること
9. じん肺の有所見者に対する保護指導を実施すること
10. 特別教育の計画的な実施の徹底及びアーク溶接作業等特定粉じん作業以外の粉じん作業従事労働者に対する特別教育に準じた教育の実施を図ること
11. 毎月特定の日を「粉じん対策の日」と定め、たい積粉じん除去のための清掃、局所排気装置等の点検、職場の巡視等を計画的に実施すること
12. 系列企業も含めた粉じん障害防止対策の推進を図ること

34 快適職場づくり(高齢化対策を含む)マニュアル

目次

1. アンケートの調査結果全般の分析
2. アンケート調査各項目の調査結果の分析及び対策等
3. 高齢化対策の必要性と取り組み
4. 快適職場づくりの全体的な進め方(フローチャート、チェックシート)
5. 快適職場づくり(高齢化対策を含む)の改善事例

36 「粉じん障害防止総合対策推進運動」に係るアンケート調査(第3回)報告書
目次

1. 粉じん則に該当する職場の有無について
2. 粉じん障害防止総合対策の展開状況について
3. 粉じん対策に関する改善すべき今後の課題について
4. 粉じん対策改善事例

40 職場のリスクアセスメントの手引き

目次

I. 解説編

1. リスクアセスメントの背景
 - 1) 日本と欧米の安全に対する考え方の違い
 - 2) 日本と欧米の労働災害の比較
2. 今後求められる安全衛生管理
 - 1) これからの安全衛生管理の方向
 - 2) 危険の定義－ハザード(HAZARD)とリスク(RISK)
 - 3) リスク(RISK)の概念
 - 4) リスクに対応した安全対策の考え方
 - 5) リスクアセスメントに求めるもの
3. リスクアセスメントの実施手順
 - 1) リスクアセスメントの手順
 - 2) リスク低減のための安全措置
 - 3) 安全措置の適用優先順位

II. 実務適用編

1. リスクアセスメント手法の種類
 - 1) 非数値式
 - 2) 数 値 式
2. リスクアセスメント手法の適用例
 - 1) 加 算 法
 - 2) マトリックス法
3. 企業におけるリスクアセスメントの職場への導入手順
 - 1) 導入手順 1 リスクアセスメント導入の検討
 - 2) 導入手順 2 トップによるリスクアセスメント導入決定と導入宣言、導入計画の作成
 - 3) 導入手順 3 リスクアセスメントの推進組織
 - 4) 導入手順 4 リスクアセスメント運用マニュアルの作成
 - 5) 導入手順 5 教育訓練の実施
4. リスクアセスメント評価表(記入例等)

42 新・VDT作業に係る労働衛生管理について

目次

1. VDT作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて
2. 厚生労働省のVDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン
及び解説
3. 健康障害について
 - 1) 電磁波による健康障害
 - (1) 電磁波とは
 - (2) 参考資料、報告書リスト
 - 2) 電磁界の人体に及ぼす影響について
 - 3) 上肢作業に基づく疾病の業務上外の認定基準
4. 関連資料
 - 1) VDT作業健康診断
 - (1) VDT健康診断調査票
 - (2) VDT健康診断個人票
 - (3) 指導勧奨による特殊健康診断結果報告書(労働基準監督署への提出用)
 - 2) 無理のない姿勢で
 - 3) こんな体操でリフレッシュ
 - 4) VDT作業のチェックリスト

4.4 「粉じん障害防止総合対策推進運動」に係るアンケート調査(第4回)報告書

目次

1. 粉じん則に該当する職場の有無について

2. 粉じん障害防止総合対策の展開状況について

- (1) 経営首脳者等による粉じん作業場のパトロールの実施していますか。
- (2) 生産設備、生産工程及び作業方法の改善、原材料の変更等による粉じん暴露の低減化のための検討及び対策を実施していますか。
- (3) 産業医、衛生管理者、衛生推進者(安全衛生推進者)等の選任及び職務について
- (4) 局所排気装置及び除じん装置について
- (5) 毎月特定の日を「粉じん対策の日」と定め、各種対策を計画的に実施していますか。
- (6) たい積粉じん除去のための清掃について
- (7) 作業環境測定及びその結果の評価に基づく適正な作業環境管理 について
- (8) 保護具について
- (9) じん肺健康診断及び管理区分による作業転換等の事後措置について
- (10) じん肺の有所見者に対する健康管理教育を実施していますか。
- (11) 特別教育又は特定粉じん作業以外の粉じん作業従事労働者に対する特別教育に準じた教育について
- (12) 系列企業に対する粉じん障害防止対策の推進について

3. 粉じん対策に関する改善すべき今後の課題について

- (1) 改善すべき課題がありますか。
- (2) (課題がある場合)具体的内容

4. 粉じん対策改善事例

- (1) 作業方法の改善
- (2) 集じん装置の改造
- (3) 集じん装置の取り付け
- (4) 設備の改善
- (5) 自動化・ロボット化
- (6) 液体化・固体化

47 機械のリスク低減対策の手引き

目次

第1章 機械の安全化に関わる概要

1. 機械の安全化を目指して
2. 機械安全に関する規格の国際的な動き
3. 機械を作る側、使う側双方への要請
4. 安全方策の概要
5. 機械のリスクアセスメントと安全方策

第2章 リスク低減方策の解説

I. 本質的安全設計

1. 危険源そのものをなくす、または低減する方策
2. 危険区域に入る必然性をなくす、あるいは低減する方策

II. 安全防護

1. ガードによる安全防護(隔離安全防護)
2. 安全防護装置によるリスクの低減(停止安全防護)

III. 追加の安全方策

1. 非常停止機能
2. 被災者の脱出・救助手段
3. エネルギー遮断機能(エネルギーゼロ状態の確保)

IV. 使用上の情報

1. 使用上の情報の内容
2. 使用上の情報の提供の方法

V. その他(安全方策に係る留意事項)

49 請負形態における元方事業者の安全衛生管理について

目次

- I. 請負・派遣の区分についての考え方
- II. 業務請負・労働者派遣の適正化のための自主点検表
- III. 元方事業者による総合的な安全衛生管理について
- IV. 請負事業者の安全衛生管理チェックリスト
 1. 設備管理
 2. 作業管理
 3. 危険要因抽出と対策活動
 4. 健康診断
 5. その他

52 新人の技能教育と安全の手引き

目次

第1章 新人の技能教育を取巻く社会的な環境

第2章 労働安全衛生法等に定める要求事項

- (1) 機械等、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱い方法
- (2) 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及びこれらの取扱い方法
- (3) 作業手順
- (4) 作業開始時の点検
- (5) 当該業務に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防
- (6) 整理、整頓(とん)及び清潔の保持
- (7) 事故時等における応急措置及び退避
- (8) その他、当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項

第3章 熱入れロールの技能教育と習得度の評価例

- (1) A社の熱入れロールの技能教育と習得度の評価例
- (2) B社のゴム練りロール作業員認定基準表及び判定結果の活用方法

第4章 危険体感訓練施設と新人教育

- (1) 体感施設のニーズとその背景
- (2) 体感施設の概要と設置例
- (3) 施設の運用

— リスクアセスメントの取り組み状況等に関するアンケート調査集計結果
目次

1. リスクアセスメントを実施中の企業(43社、全回答の61.4%)について
2. リスクアセスメントに着手予定／検討中の企業(24社、全回答の34.3%)について
3. リスクアセスメントを導入する予定のない企業(3社、全回答の4.3%)について
4. 全70社について
5. まとめ

57 リスクアセスメントの導入・推進に関する質問と実例回答集

目次

1. トップの導入宣言
2. RA 実施要領教育
3. 危険性又は有害性の特定
4. 危険性又は有害性のリスク見積もり
5. 低減対策の検討
6. 低減対策の決定
7. 低減対策後のリスク見積もり
8. 残存リスク管理
9. その他

60 危険体感教育導入・推進のために

目次

はじめに

危険体感教育の実施事例

- 1) 対象者
- 2) プログラム(教育の時間、クラスの人数、実施日程・時間割、頻度)
- 3) 講師(構成、どのように養成しているか)
- 4) テキスト
- 5) 導入の優先順位
- 6) 効果を出すために工夫している点
- 7) 効果(効果の確認方法、効果を持続させるための工夫を含む)
- 8) 体感機的设计、製作方法及びその注意点
- 9) 体感機の使用方法
- 10) 体感機の維持管理の担当部署

体感機事例

- 1) 墜落・転落
- 2) 転倒
- 3) 激突
- 4) 飛来・落下
- 5) 激突され
- 6) はさまれ
- 7) 巻き込まれ
- 8) 切れ・こすれ
- 9) 高温・低温の物との接触
- 10) 感電
- 11) 爆発
- 12) 火災
- 13) その他

危険体感教育及び体感機関連会社

当会ウェブサイトでの安全衛生相談受付

63 安全パトロールの活用事例集

目次

はじめに

各種パトロールの主な目的一覧

安全パトロールの活用事例概要

安全パトロールを活性化する工夫

各種パトロール事例

- 1) 会長・社長パトロール
- 2) 本部安全衛生パトロール
- 3) 安全親父パトロール
- 4) 安全パトロール(専任)
- 5) 安全管理者パトロール
- 6) 防災点検
- 7) 法令遵守パトロール
- 8) 労使パトロール(作業観察)
- 9) 安全の日巡回
- 10) 公開作業観察
- 11) 作業のリスクアセスメント
- 12) 問いかけKYパトロール
- 13) ベルパトロール(安全の鐘パトロール)
- 14) 設備の車検点検(5年毎の設備点検、繰返し設備点検、定期設備点検)
- 15) 安全衛生委員会パトロール(産業医・衛生管理者・推進者パトロール)
- 16) 5Sパトロール
- 17) 相互・巡回パトロール
- 18) 夜間パトロール
- 19) 交通監視・動力車立哨

68 ヒューマンエラー低減への取組み

目次

はじめに

ヒューマンエラーの概要

今回取り上げた事例の要点

研究のまとめ

ヒューマンエラーに起因すると考えられる事例の詳細

- 1) 定常作業時の事例
- 2) 非定常作業時の事例
- 3) 保全、工事時の事例
- 4) その他の事例

M-SHEL モデルの解説

当会ウェブサイトでの安全衛生相談受付

73 KY活動の活性化に向けての事例集

目次

はじめに

KYの概要

KY活動の定着化

別表-1:「KY活動の定着化」講習のステップ例

別表-2:「KY活動の定着化」講習のステップに応じた事例一覧

日本ゴム工業会・会員企業におけるKY KYT 活動の現状について

KY活動の詳細事例

- 1) KYT活動
- 2) 交通KYT活動
- 3) 作業KYT
- 4) KYスキルテスト
- 5) 自作の動画をもとにしたKYT
- 6) KY能力評価
- 7) 歩行ルール遵守活動
- 8) 1人KYTによる個人の危険予知能力向上
- 9) 外国人作業者のグループKYTの実施
- 10) 外注工事業者へのKY活動強化
- 11) マグネットKY
- 12) 公開KY
- 13) 問い掛けKY
- 14) KYTコンテスト
- 15) KY事例発表会

当会ウェブサイトでの安全衛生相談受付

76 労働災害における効果的な要因調査・分析と対策の取組み はじめに

I. 労働災害における効果的な要因調査・分析

1. 災害発生時の緊急対応
2. 災害発生状況の調査
3. 要因調査と分析
4. なぜなぜ分析の事例紹介:労働災害事例(考え方、分析の仕方)
5. 報告書の作成
6. 行政への事故報告
7. まとめとしての仕組み化や標準化

●要件表<付表1~3>

●なぜなぜの解説

II. 効果的な対策の取組み:再発防止に向けての安全対策について

1. 効果的な対策の取組み:再発防止の取組みの全体
2. 効果的な安全対策について
3. 効果的な対策の事例

●事例紹介

(参考)機械包括安全指針に定める保護方策

79 ゴム製品製造業の作業工程における安全対策

はじめに

I. 今回の特別研究項目実施の背景、現在の発生状況

(ゴム工業会の災害発生状況等で現状説明)

II. 目的:「災害予防」

III. ゴム製品製造業の作業工程で使用されている設備について

IV. それぞれの工程で使用されている設備に関する法的な要求事項調査

V. 実際に発生した災害事例での対策案紹介

(2018年労働災害発生報告書事例より)

工程別分類 配合(1)

練り(5)

成形(3)

押出加硫、押出連続加硫(5)

型物加硫(3)

仕上げ・検査(5)

運搬(3)

保全(1)

その他(5)

VI. まとめ

82 ゴム製品製造業におけるプロセス(工程)別にみた新人教育 (技能職作業者に行なうべき新人教育の内容)

第1章 安全衛生教育の重要性について

1. 労働安全衛生関係法令で定められた新人安全衛生教育
2. 新人安全衛生教育の流れ
3. 労働安全衛生法に基づく安全衛生教育
4. 事業場が行う自主的な教育、訓練等

第2章 ゴム製品製造業における安全衛生教育体系(例)

1. 法定に基づく安全衛生教育
2. 各社の実情に合わせて実施する安全衛生教育

第3章 ゴム製品製造業の特徴的な製造工程における安全衛生教育事例

1. 原材料受け入れ 工程
2. 配合 工程
3. 混練り・成形 工程
4. 加硫(プレス、インジェクション、押出機、他)
5. 後加工(仕上げ、カット、他)、検査、出荷 工程
 - 5-1 ゴムベルト製品の仕上げ工程
 - 5-2 工業用ゴム製品の仕上げ工程

第4章 危険体感教育

1. 危険体感教育の目的
2. 危険体感教育導入・推進のために」概略紹介
3. 危険体感研修実施機関の一例

「[No.60 危険体感教育導入・推進のために](#)」と併せて当会 HP から会員限定で閲覧、ダウンロードができます。

閲覧を希望される会員会社の方は、お手数ですが以下よりお申込み下さい。

<https://www.rubber.or.jp/mailform.php?id=17>

85 職場での安全ルール順守の進め方 (ルール違反によって発生する災害の防止)

はじめに

第1章 ルール違反の分類について

第2章 災害事例の要因解析(m-SHELL モデルによる分析)

1. m-SHELL モデルとは

2. 災害事例のm-SHELL モデルに基づく分析

2-1. m:マネジメント(方針、管理)について

2-2. S:ソフトウェア(作業手順・標準、ルール、教育・訓練)について

2-3. H:ハードウェア(設備)について

2-4. E:環境(物理的環境、作業の状態・区分、風土)について

2-5. L:作業員本人(特性、知識、理解、技能)について

2-6. L:上司、同僚(考え方、行動)について

第3章 「職場でのルール順守の進め方」のまとめ

第4章 参考資料

1. 災害事例(1～16)の概要及びm-SHELL 分類に従った「原因(問題)」と「実施した対策」

2. m-SHELL分類による16事例のまとめ一覧

3. 会員企業で実際に行っている災害発生時の要因調査方法について

3-1. 災害分析手法の一例

3-2. 災害分析の実施例

3-3. 社内労働災害報告書の事例

「[No.76.労働災害における効果的な要因調査・分析と対策の取り組み](#)」と併せて当会 HP から会員限定で閲覧、ダウンロードができます。

閲覧を希望される会員会社の方は、お手数ですが以下よりお申込み下さい。

<https://www.rubber.or.jp/mailform.php?id=17>

88 保全作業の安全確保 (非常作業で発生する災害の防止)

はじめに

第1章 保全作業における災害事例の分析

1. 保全作業のカテゴリ
2. 手順書の有無、作業前の確認
3. 怪我に至ったエネルギー
4. 年齢・経験年数
5. 安全装置の無効化・ルールへの順守

第2章 災害対策

第3章 「保全作業の安全確保」のまとめ

第4章 参考資料

1. 災害事例(No.1～17)
2. 参考文献
3. 作業手順書の例
 - ①脚立作業
 - ②卓上ボール盤による穴あけ作業
 - ③ディスクグラインダー作業
 - ④アーク溶接作業
 - ⑤吊りクランプ取扱い作業標準

「[No.76.労働災害における効果的な要因調査・分析と対策の取り組み](#)」と併せて当会 HP から会員限定で閲覧、ダウンロードができます。

閲覧を希望される会員会社の方は、お手数ですが以下よりお申込み下さい。

<https://www.rubber.or.jp/mailform.php?id=17>